

～ポートルランド旅行記～

1年4組

3週間のホームステイは思い出深く、とても楽しいものでした。ホストファミリーにも友達にも恵まれて最高の思い出となりました。参加して本当によかったと思います。ポートルランドに行くことは楽しみな反面、不安もとても多かったです。でも12月25日、飛行機に乗るとなかなか実感はわかなかったけど、すごくわくわくしてきました。とても眠ることはできませんでした。

ポートルランドに着きエスカレーターを上がると、みんな迎えにきていたのでびっくりしました。その日はみんなでホテルに泊まるはずで、なにも心構えもしていなかったために戸惑ってしまいました。みんなそれぞれ自分のホスト達に自己紹介をしました。はじめはもう何か何やら混乱するばかりで満足にできませんでした。そしてそこでみんなばらばらになって、やっとホームステイに来たんだという実感が出てきました。けど、1日目は私のホストの家ではなく、由美子さんのホストのメイガンの家に泊まらせてもらいました。

初めて見た景色は少し札幌に似ているような気がしましたが、何を見てもアメリカにいるんだと思うと嬉しくてたまりませんでした。その日もそうだったけど、ポートルランドは曇りの日のとても多いところでした。

家に着くとすぐにメイガンの祖父の家でのクリスマスパーティーへ行きました。とてもみんな親切にしてくれましたが、風邪と緊張してたのもあっておなかが痛くなってしまい、せっかくのクリスマスディナーも食べられず迷惑をかけてしまいました。そしてみんな食べ終わると外に家を見に連れて行ってくれました。クリスマスにはそれぞれが自分たちの家にかくさんのライトを付けて飾りつけをします。どの家もとても可愛く飾りつけてありました。

次の日、私の本当のホストのコリーンの家へ行きました。コリーンとHost motherのペニーが迎えてくれ、家に入るとHost fatherのパトリックも笑顔で迎えてくれました。明るくとても仲のよい家族で、私もすごく楽しく過ごしました。



ペニーは色々な話しをしてくれたり、たくさんお買い物につれて行ってくれたり本当によくしてくれました。そして、従姉妹や近所の友達とかたくさんの人に会わせてくれて、みんなと仲良くなれたことが何よりも嬉しかったです。アメリカにいる時は色々な人に会って英語で話しをするのが楽しくてたまりませんでした。時々通じないこともあったけど、私もみんなも一生懸命になって話したり聞いたり、本当によい経験になりました。やっぱり日本にいる時はいくら勉強しても使う機会がないので、アメリカに行ってどのくらい通じるのかもわからず不安でした。でも、たとえ一回で通じなくても頑張ればどんなことでも伝えられるということが分かりました。けどすぐに通じたときはとても嬉しかったです。ペニーの英語はとても聞きとりやすく話しやすかったけど、コリーの英語は初めのうち、とても聞きとりにくくてすごく苦労しましたが、一緒にいるうちに不思議となんでも話せるようになりました。

1日目は教会へ行きました。私は一度も行ったことがなかったので興味深かったです。いろいろな歌を歌っていて、その中に一つだけ小学校で習った歌がありました。コリーは毎週教会へ行っていたけど、私はその日一度行っただけであとは行きませんでした。

そして夜、日本から持っていった漆器やハンカチなどのお土産を渡しました。何を持って行こうかすごく悩んだけど、どれもとても喜んでくれたのでよかったです。けれどそれ以上に家族や友達とかの写真を喜んで見てくれました。日本のことについては余り知らないようで、着物やひなまつり、露天風呂など色々なことについてたくさん質問されました。あと、みんな日本の物の値段についてとても興味があるようでした。一つ一つこれは日本ではいくら位するのかと聞かれ、だいたいで答えると、ポートランドの物価がとても安いぶんすごく高く感じるようで、何度もびっくりしていました。

27日は日本の生徒とそのホスト達とでパーティーがありました。みんなに会って話したり、歌ったり、お手玉をしたりしてとても楽しかったです。アメリカの子達はすごく明るくて楽しい子ばかりでした。帰りに夜のダウンタウンを見ました。ポートランドの夜景は本当にきれいで素晴らしいものでした。

30日はコリーの友達ジェニファーが泊まりにきました。ジェニファーはとても明るく優しい子で、すぐに仲良くなりました。一緒にクッキーを作ったりして、楽しかったけどこげてしまい大失敗でした。

31日は朝起きるとたくさん雪が積もっていました。何年かぶりだと言ってみんなはしゃいでいました。その日は家でNEW YEARパーティーをしました。朝から従姉妹とかたくさん来ました。たくさん料理がテーブルに並んでいて、好きな時に好きなだけ取って食べるというものでした。昼間はみんなでそりに乗り近くの丘へいきました。眺めもよくてすごく楽しかったです。

なかでも12才のマイクとケリーとはとても仲良くなって、いろんな話しをしました。一番覚えているのは去年日本から16才の女の子がホームステイにきたときの話でした。その子はたくさん万引きとかをしたと言っていました。わざわざポートランドまで来てどうしてそんなことをするのかと思うと本当に腹がたち、なんか悲しくなりました。でも日本人に変な偏見を持たずに仲良くしてくれましたのでとても嬉しかったです。言葉を使わなくてもすごく楽しく遊べました。本当はもっといろんな話しをしたかったけど、質問に答えるのが精一杯で思うように言葉がでてこなくてくやしかったです。



(左から

リンカン高校で)

そして2階に行ってみみんなで折り紙をしました。6人いたので結構時間がかかったけど、みんなとても楽しいって言うてくれたので色々なものを一緒に折りました。こんなに喜んでくれるとは思いませんでした。「これでいいの?」「あってる?」と言いながらみんな一生懸命に折っていました。私も今まで意識したことなかったけど、折り紙ってすごいなと思いました。

そして夜、もう少しで12時になる時、みんなで外に出てクラッカーやフライパンとかをならしたり、花火をしたり、変わった年の越し方をしました。みんな凄く騒いでいました。そしてその日はただすれちがったひとにまで HAPPY NEW YEAR! と声をかけあったりしていて、すごくアメリカらしくていいなあと思いました。

そして1月4日から、リンカン高校に通いました。10日間、本当に楽しくていい経験になりました。1時間ごとに教室を移動しなければいけないから忙しかったけど、そのぶんたくさんの人に会えるのがよかったです。いろんな人が気軽に話しかけてくれてとても嬉しかったです。そして、その日その日で一緒にクラスをまわってくれるホストが違うので、明日はどんな人だろうと思うととても楽しみでした。全員日本語クラスの生徒だったけど、何となく日本語で話しかけるのもタイミングを失ってしまい、英語で話しました。でも一番最後の日のホストだった男の子はとても日本語がうまく、日本語で「今日は暖かいですね」とか宿題をうつしている人を見て「彼は怠け者です」とか辞書を使いながら一生懸命たくさん話しかけてきてくれました。いつか一度は日本にいつてみたいと言っていました。そういうふうになってくれる人がいてなんか嬉しかったです。あと違う日のホストは、私がタコスを食べたことがないという、ランチのときに食べにつれていつてくれたり、とても親切にしてくれました。タコスはおいしかったです。

そしてある日、日本語クラスの伊東先生が私達みんなに梅干し入りのおにぎりを作ってきてくれました。本当に感動してしまいました。私のステイ先では、ほとんどお米は食べなかったのによけいにおいしく感じました。伊東先生は日本の先生とはちょっと違った感じの先生だったけどとてもよい先生でした。

そしてポートランドでの最後の週末に、私が行きたいと言っていたので、パトリックとペニーは海の近くのホテルに予約をしてくれていました。ずっと楽しみにしていたのに、その日は雪が降ってしまい、行けなくなってしまいました。

ポートランドでは雪が降ったり、地面が凍って滑るようになると車が運転できなくなってしまうため、学校までもが休みになってしまい、出かけることもあまりできません。リンカン高校の生徒は毎日 snow snow と雪が降るようにお願いしていました。雪で学校が休みになるなんて羨ましいと思っていたけど、その時ばかりはとてもしゃあよかったです。

最後の日曜は日本の生徒とホストとみんなでボーリングに行きました。みんな、ひとりひとり投げること大声で騒ぐので先生に注意されました。でもとても楽しかったです。そして夜、日本の友達から電話がきました。すごくびっくりしたけど本当に嬉しかったです。アメリカで身振り手振り一生懸命話すのもいいけど、何でも言える日本の友達もいいものだなあと思いました。

毎日とても楽しく忙しく過ごしてるうち、あっという間に3週間がたちました。家族や友達に会いたい気持ちもあったけど、それよりずっとこのままポートランドにいたい、リンカン高校に通いたいと、本当に思いました。絶対また来るんだと心に決めました。そしてとうとう帰る日がきました。でも朝起きると予想もしていないことが起こりました。今まで毎日送り迎えしてもらっていた車が夜のうちに盗まれてしまったのです。この時ばかりは何にも言うことができませんでした。この車はみんなのお気に入りの車だったので、本当にかっかりしていて、私も悲しくなりました。でも私は帰る支度をしないといけないので部屋に戻りました。そして、少しして居間に戻ると、さっきまでの暗い雰囲気は嘘のように、もうペニーは大声で笑いながら友達と電話で話していました。私もびっくりしたけどコリーンもこの変わりように飽きれて笑っていました。でもほっとしました。車も後で見つかったのでよかったです。

そして、朝からステイ中に仲良くしてくれた人達が、プレゼントをもってきてくれました。ジェニファーと一緒に作ったとき失敗したからと言ってクッキーと、一緒に雪だるまを作った時のことを忘れないようにと雪だるまのついた鉛筆をくれました。本当に嬉しくて、もうこれで会えなくなると思うと悲しくて涙がとまりませんでした。みんなにお別れをいうたびに涙がでて、朝から泣きっぱなしでした。コリーンにはお揃いのペンダントとボディガードのCDをもらいました。どちらも大好きだったのでとても嬉しかったです。コリーンは今年の夏に来るからまたすぐに会えるけど他の人は会えるかどうか分からないのでとても別れるのが寂しかったです。

空港で最後の最後にお別れを言うときは、いろいろなことが頭に浮かんで、もう涙がとまりませんでした。みんなも泣いていたのでよけいにとまりませんでした。お礼とかたくさん言おうと思って考えていたのに、今思えば本当に何も言うことができず、ただ Thank you というのが精一杯でした。ずっとここにいたいなと思いました。あっというまの3週間でした。本当に素晴らしく、貴重な経験をすることができました。今回このメンバーで行くことができ最高だったと思います。いつも私達のことを気遣ってくれた先生にもとても感謝しています。みんな本当にどうもありがとうございました。